

展覧会の開催について

企画展

遠藤彰子展

巨大画の迷宮にさまよう

当館では、6月22日(土)より 企画展『遠藤彰子展』を開催いたします。

画家・遠藤彰子(1947-)は、自身を取り巻く身近な事象をテーマにしながらも、その壮大な世界観で、観る者に圧倒的な印象を残してきました。縦3.3m×横7.5mにも達する巨大画は、われわれを果てしない迷宮の世界へと引き込みます。本展では約80点の作品を通して、その半世紀にわたる画業を振り返ります。

つきましては、取材・広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ 展 覧 会 ◆

会 期：2024年6月22日(土)から8月25日(日)

休 館 日：月曜日[ただし7月15日は開館]・7月16日(火)

開館時間：午前9時30分～午後6時

観 覧 料：一般1,200円(1,000円)、大学生・高校生900円(700円)、
中学生以下無料

*()内は、団体料金(20名以上)・リピーター割引料金、あっちも割引料金

お問合せ先：

新潟市美術館 (担当：児矢野・塚野)

tel: 025-223-1622 (直通)



《鐘》部分 2007-2008年 個人蔵

遠藤彰子展

巨大画面の迷宮に

ささまよらう

2024.6.22 土 | 8.25 日

- 休館日 / 月曜日(ただし、7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)
- 開館時間 / 午前9時30分～午後6時
※ 観覧券の販売は午後5時30分まで
- 主催 / 新潟市美術館
- 共催 / BS11新潟放送
- 協力 / 青幻舎プロモーション
- 観覧料 / 一般: 1,200円(1,000円)、
大学・高校生: 900円(700円)、中学生以下無料

※ ()内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金
(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)・
あっちも割引料金(新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、
1回1名・1年間有効)
※ 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料
(受付でご提示下さい)
※ 会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」(~6/30)もご覧いただけます

新潟市美術館

Facebook @ncam.tsunagaru
Instagram @ncam_official

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-Mail: museum@city.niigata.lg.jp



《たそがれの街》1982年 194×259cm 新潟市美術館蔵



《楽園の住人たち》1974年 130.3×194cm 個人蔵

新潟初! 巨大画の迷宮へようこそ

遠藤彰子(東京・1947-)は、現代を代表する画家のひとりです。1986年に第29回安井賞展安井賞を受賞し、美術団体・二紀会を中心に活動を続けてきました。2014年には紫綬褒章を受章、そして2023年には毎日芸術賞を受賞し、今後もさらなる活躍が期待されています。

その絵画は、自身を取り巻く身近なことからテーマとしながらも、その壮大な世界観で観る者に圧倒的な印象を残してきました。「人間の存在」および「今生きている実感」を追求した油彩画は、最大で縦3.3メートル×横7.5メートルにも達します。

新潟で初めての回顧展となる本展では、初期の「楽園シリーズ」から、飛躍のきっかけとなった「街シリーズ」、そして現在に至るまでの大作群を中心に、立体や挿画による約80点の作品を通して、その半世紀にわたる画業を振り返ります。巨大画に広がる迷宮の世界を、細部までご覧いただければ幸いです。



《鐘》2007-2008年 333.3×745.5cm 個人蔵



《死なむな夢》1995年 333.3×218.2cm 個人蔵

関連事業

講演会 遠藤彰子氏による開幕記念講演会

日時:6月22日(土) 午後2時~午後3時30分(午後1時30分開場) 会場:講堂
申し込み不要、聴講無料、定員80名(先着順)

ワークショップ 身の回りのものに絵を描いてみよう 講師:遠藤彰子氏

日時:7月27日(土) 午後1時30分~午後5時30分 会場:実習室 対象:小学生以上(小学生は、要保護者参加)

定員:20名

参加費:おひとり500円

持ち物:身の回りにあって、絵を描きたいと思うもの

(シャベル・スプーン・洗濯板・お皿など何でもOK、海の近い美術館にちなんで流木を用意していますので、手ぶらでもOK)。

・アクリル絵の具、筆など(お持ちの方・貸し出しもできます)。

・汚れてもよい服装でお越しください。

申し込み方法

当館の代表メールアドレス(museum@city.niigata.lg.jp)、あるいは、往復はがき(951-8556新潟市美術館宛)で、次の5つの項目を記入のうえ申し込み。

①参加者全員の氏名(1通につき4名まで)、②年齢か学年、③代表者の住所、④電話番号、⑤「遠藤展ワークショップ」締め切り/6月30日(日)午後5時必着(応募多数の場合は抽選)

担当学芸員によるギャラリートーク

日時:7月7日(日)、8月4日(日) 各日午後2時~(30分程度) 申し込み不要、要当日観覧券

同時開催

●大村益ととその残欠+コレクション展ニャン ネコ用品専門展 ~6月30日(日)

●Lounge Nきままプログラム 「遠藤先生の描いた街に出かけよう」

その場で誰でも気軽に参加できる造形プログラム。遠藤彰子展に関連し、当館所蔵作品《たそがれの街》の中に出てきそうな人やモノを考えて、絵の中に登場させてみよう。

新潟市新津美術館の展覧会 TEL:0250-25-1300

●連載完結記念 ゴールデンカムイ展 5月25日(土)~7月7日(日)

●シャガール展 詩情と愛 —8つの版画集より 7月20日(土)~9月29日(日)



【交通のご案内】

○バスで(新潟駅万代口バスターミナルから)

・【C6八千代橋線】乗車約16分→「西郷通八番町」バス停下車→徒歩5分

(便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります)

・【B1萬代橋ラインなど】乗車約10分→「古町」バス停下車→徒歩12分

(最も便数が多いバス停からのアクセスとなります)

○タクシーで 新潟駅万代口から約10分

○自動車で(無料駐車場46台)

A:【高速道路】日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

B:【国道8号線(新潟バイパス)】紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

*当館駐車場は混雑する場合があります。

*「新潟市西郷地下駐車場」の駐車券のご提示で60分無料券をお渡ししています。

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

F:951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 www.ncam.jp

遠藤彰子展

巨大画の迷宮にさまよう

2024年6月22日(土)ー8月25日(日)



① 《鐘》2007-2008年、333.3×745.5cm、個人蔵

◆開催趣旨

画家・遠藤彰子(えんどう・あきこ 1947-)は、自身を取り巻く身近な事象をテーマにしながらも、その壮大な世界観で、観る者に圧倒的な印象を残してきました。「人間の存在」及び「今生きている実感」を追求した油彩画は、縦 3.3m×横 7.5mにも達する巨大画へと発展し、われわれを果てしない迷宮の世界へと引き込みます。本展では約 80 点の作品を通して、その半世紀にわたる画業を振り返ります。

◆みどころ

①新潟県で初開催！

武蔵野美術大学油絵学科名誉教授でもある遠藤彰子による個展は、新潟県内では初開催となります。さらに、当館収蔵の《たそがれの街》を特別出品します。この貴重な機会をお見逃しなく。

②半世紀にわたる画業を一挙公開！

画家としてデビューした 1970 年代に描かれた「楽園シリーズ」をはじめ、飛躍のきっかけとなった「街シリーズ」、そして 1989 年から現在まで続く 500 号を超える「大作シリーズ」を中心に、立体や新聞連載小説の挿絵といった広範な活動の軌跡を一堂に展観します。

【展覧会に関するお問い合わせ先】(担当：児矢野、塚野)

Tel 025-223-1622/Fax 025-228-3051/Mail museum@city.niigata.lg.jp

◆遠藤彰子 略歴

- 1947 年 東京都に生まれる
- 1969 年 武蔵野美術短期大学卒業
- 1986 年 安井賞展安井賞受賞
- 1986 年 文化庁芸術家在外派遣研修
- 2007 年 平成十八年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 2014 年 紫綬褒章受章
- 2023 年 毎日芸術賞受賞



◆展覧会構成

●楽園シリーズ

1969 年、遠藤は結婚を機に東京から相模原へ引っ越します。当時、相模原には森や田園が広がっていて、構えた自宅兼アトリエ近くにある林へ入ると、野ウサギや野鳥が多く見られたといいます。この環境に身を置いていたことの嬉しさが創作の源泉となり、「人間と楽園」というイメージを描き始めました。また、楽園シリーズで描かれている象やライオン、サーカスといったモチーフは、1972 年に訪れたインド旅行での体験をもとにしています。この旅行で「生」と「死」の根源を垣間見たことをきっかけに、内在的なテーマとして以後の作品にもみられます。本シリーズでは、遠藤が「絵を描くこと自体が楽しい幸せな時期でした」と回顧する初期作品を辿ります。

●街シリーズ

1970 年代後半から始まる「街シリーズ」では、心境の変化が画面に現れます。相反するものの要素が組み合わせられ、恐ろしさと楽しさが同居する迷路のような街が登場します。きっかけは、生まれて間もない我が子が、死に瀕する急病に直面したことに由来します。遠藤は、「その時、今までの世界観が逆転するような経験をしました。幸せそうに暮らしている日々が、何の前触れもなく一瞬にして、暗転してしまう恐ろしさを思い知らされたからです。」と振り返っています。この「街シリーズ」によって次々と受賞を重ね、画家としての地位を確立していきます。

●大作シリーズ

1989 年に発表した《みつめる空》を皮切りに、500 号(約 2.5×3.3 メートル)の大作に挑むようになります。これがさらに横に 2 枚連なった 1000 号(約 3.3×5.0 メートル)、3 枚連なった 1500 号(約 3.3×7.5 メートル)という大画面へと発展していきました。現在も毎年 500 号以上の大作に挑戦し続けています。「大作シリーズ」では、これまで「生と死」や「光と闇」、「破壊と創造」といった根源的なテーマを壮大な世界観で描いています。うねりのある構図から引き起こされる、その躍動感やエネルギーの前に、まるで絵の中に引き込まれるかのような不思議な感覚に陥ることでしょう。

◆出品作品

楽園シリーズ



② 《楽園の住人たち》 1974年
130.3×194.0cm、個人蔵

街シリーズ



③ 《たそがれの街》 1982年
194.0×259.0cm、新潟市美術館蔵

街シリーズ



④ 《死なしむな夢》 1995年
333.3×218.2cm、個人蔵

街シリーズ



⑤ 《佳日》 2005年
292.3×130.0cm、個人蔵

大作シリーズ



⑥ 《ことば響くあたり》 2019年 333.3×497.0cm、個人蔵

◆基本情報

展覧会名	遠藤彰子展 巨大画の迷宮にさまよう
会期	2024年6月22日(土)ー8月25日(日)【57日間】
休館日	月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)
開館時間	9:30-18:00(観覧券販売は閉館30分前まで)
会場	新潟市美術館 企画展示室
観覧料	一般1200円(1000円)、大学生・高校生900円(700円)、中学生以下無料 *()内は20名以上の団体、リピーター割引料金
主催	新潟市美術館
共催	BSN新潟放送
協力	株式会社青幻舎プロモーション

◆関連イベント

●遠藤彰子による開幕記念講演会

日時 6月22日(土)14:00-15:30/ 会場 講堂/ 人数 先着80名

●ワークショップ「身の回りのものに絵を描いてみよう」

日時 7月27日(土)13:30-17:30/ 会場 実習室

対象 小学生以上(小学生は保護者の付添が必要)/ 参加費 要当日観覧券/ 人数 20名

*ワークショップの詳細や申し込み方法については、当館webページをご確認ください。

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時 7月7日(日)、8月4日(日)/ 各日14:00-(30分程度)

*申し込み不要、要当日観覧券

◆お問い合わせ

新潟市美術館 担当:児矢野あゆみ、塚野卓郎

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

Tel 025-223-1622 Fax 025-228-3051

URL: <http://www.ncam.jp> mail: museum@city.niigata.lg.jp

遠藤彰子展 巨大画の迷宮にさまよう

【取材・チケットプレゼント・記事掲載について】

次の1～2のいずれかをご希望の場合、以下の URL 二次元 コードから WEB フォームでお申込ください。

- 1) 展示作品の図版掲載(プレスリリース掲載画像からお選びください)
- 2) 読者プレゼント用の招待券

【申し込みフォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/1YeNXiWg2Fu52m5NIXNgWM7tW-yDJ2g1aOrmzMZLmTbE/edit>

- ◆使用画像と基本情報の確認のため、掲載前の原稿や映像は、担当者まで必ずお送りください。
- ◆チケットプレゼントの提供は、本展をご紹介いただける場合のみとし、1媒体につき 10組 20名様を上限として提供します。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載媒体は、必ず当館まで1部ご送付ください。
- ◆WEB掲載の場合は、コピーガードの処理をかけてください。